

1 単元 わたしたちのくらしと経済

2 目標

- (1) 生徒たちにとって身近で具体的な事例で現代の経済活動に対する関心を高め、今日の経済活動について考えようとする。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 国や地方公共団体の経済的役割や財政、また企業の役割と社会的責任について様々な方向から多面的・多角的に捉え、公正に判断し自分の意見を表現している。 (社会的な思考・判断・表現)
- (3) 経済に関する資料をもとに、情報的確かかつ適切に取捨選択し活用するとともに、自らの考えを自分なりにまとめることができる。 (資料活用の技能)
- (4) 経済活動について、お金の動き、国民生活とのつながりに関する理解を深めることができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

本単元では、消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代における生産の概要、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割などを多面的・多角的に捉え理解を深め、自分の生活にどのように活用できるのかを考えることを主なねらいとしている。
 市場経済のしくみや現代の市場経済の状況について関心を高め、見いだした課題について様々な資料を活用して多面的・多角的に考察させる。それを踏まえ、市場経済の基本である需要と供給についての生徒の理解状況を把握するために次のような実態調査を実施した。

(男子*名 女子*名 計*名 *月*日実施)

| | |
|-----|--|
| 質問1 | 下の()に①に入る言葉を考えて入れてください。 人気のある携帯電話は、価格が(①)。 |
| 質問2 | 下の()に②に入る言葉を考えて入れてください。 観光旅館の宿泊料金は、平日よりも土曜日のほうが(②)。 |
| 質問3 | 下の()に③に入る言葉を考えて入れてください。 みかんが豊作だった年は、みかんの価格は(③)。 |
| 質問4 | なぜ質問1～3のようになるとおもいますか？自分の考えを書いて下さい。 |
| 解答例 | 質問1 高い 質問2 高い 質問3 安い 質問4 需要と供給が関わっている記述であること。 |
| 結果 | (1) 質問1～3ともに正答・・・*名 (2) 質問1～3の内2つ正答・・・*名 (3) 質問1～3の内1つ正答・・・*名 (4) 全問不正答・・・*名 (5) 例:人気だとすぐになくなるので高く、同じ物が沢山あると飽きるため安くなると思うから。 テレビなどで「人気の携帯電話は高い」と言っていたから。 |

アンケート結果から、質問1～3を見ると、自分自身の生活体験の中での経験則によって全て正答の生徒が*名いる。しかし質問4をみると、なぜそうなるのかという説明はうまくできないことがうかがえる。また、需要側の立場は理解しているが供給側の立場や考えは理解できていないことを把握した。

そこで、本単元では、学級を消費者(需要)と生産者(供給)に分けて均衡価格が決まるまでのシュミレーションを行う。この活動を通して、価格が決まるまでの経緯を体験的に理解させたい。生徒が主体的に学習内容と実生活を結びつけて考察し、自分の言葉でしくみを説明できるように体験的な学習を取り入れていきたい。

4 指導と評価の計画 (12時間扱い)

- 第1次 くらしと経済----- 4時間
- 第2次 生産と労働----- 4時間
- 第3次 価格の働きと金融----- 4時間

| 時 | 指導内容 | 評価観点 | | | | 評価規準 |
|---|--|------|---|---|---|---|
| | | 関 | 思 | 技 | 知 | |
| 1 | 価格の役割について具体的な事例から理解する。 | | ○ | | ◎ | 価格には商品を効率よく配分するためのシグナルの役割があることを理解している。 |
| ② | シュミレーションを通して、市場経済のしくみを需要と供給の視点から考える。 | | ◎ | ○ | | 商品の需要と供給の関係が価格の変化に関係していることを自分の言葉で説明し、表現している。 |
| 3 | 私たちの生活と金融機関の関係を、身近な銀行の事例から調べる。 | ○ | | ◎ | | 様々な資料から金融の働きについて読み取り、景気にどの様な影響を与えているかを自分の言葉でまとめている。 |
| 4 | 景気を安定化させるためにどの様なしくみがあるのかを貨幣と金融の観点から理解する。 | ○ | | | ◎ | 日本銀行の役割や、銀行がどの様に利益を得ているかについての知識を身に付けている。 |

5 本時の指導

(1) 目標

需要側と供給側の気持ちを考えるシュミレーション活動を通して、商品の需要と供給の関係が価格の変化に関係していることに気付き、自分の言葉で説明し、表現している。

(2) 本校人権教育の視点との関連について

シュミレーションに関わる話を一人一人の意見を尊重して行うことを通して、本校の人権教育の視点「相手の立場を尊重し、思いやりのある生徒を育てる」に迫りたい。

(3) 準備

- ①旅行パンフレット ②みかんのポスター ③スーパーの値札 ④ハウスみかん
⑤ブランドみかん ⑥ワークシート ⑦拡大ワークシート ⑧ホワイトボード

(4) 展開

| 学習内容・活動 | 準備 | 支援の手だてと評価 |
|--|----------------------------|--|
| <p>1 本時の学習課題をとらえる。</p> | <p>② ③ ④ ⑤</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドみかんと一般的なみかんの写真とスーパーの値札を提示し、同じみかんでなぜ価格が違うのかを質問し、課題意識を喚起できるようにする。 ・ブランドみかんと一般的なみかんの実物を試食させる。見た目や味、香りの観点の違いから、ブランドみかんの付加価値と希少性に気付かせ、価格の違いに影響していることを予想できるようにする。 |
| <p>価格はどうのようにして決まるのだろうか。</p> | | |
| <p>2 商品の価格を売り手と買い手に分かれて考える。 《市場経済シュミレーション みかんの売り買い》 【買い手】 持ち金 1000 円の中で、みかんでできるだけ安く買うことを目指す。グループ内で相談し、いくらならば売り手は売ってくれるかを考える。 【売り手】 0～1000 円の間でできるだけ高く売れることをめざす。グループ内で相談し、いくらならば買い手に売ることができるかを考える。 売り手と買い手の言い値(買いたい価格と売りたい価格)をそれぞれ提示させ、それがお互い一致する価格を探す。</p> | <p>⑥ ⑦</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教室全体を計 8 班に分け、売り手(供給側 4 班)と買い手(需要側 4 班)に分けることで、生徒同士で相談しやすいようにする。 ・売り買いの意思表示は教師の指示で一斉に行うことで、市場のセリのような雰囲気をつくる。方法としては、代表者に「自分の班はいくらで売る(買う)」と言ってもらうよう指示する。そして、グループごとに売り手買い手がほぼ一致する価格を探す。 ・教師は机間指導によって、話合いの進行状況を把握する。 ・話合いが停滞しているグループや生徒には、自分が売りたい、または買いたいならばどのくらいであれば妥協できるかという視点を与えて、思考の手助けを行う。 ・需要と供給のバランスに気付いて価格決定をしようとしている生徒・グループには、商品の付加価値を考慮に入れて、価格決定に明確な理由をつけて考えるように助言する。 |
| <p>3 均衡価格が決まるまでの経緯を話し合っ班別ホワイトボードにまとめる。</p> | <p>⑧</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・違うグループと意見交換する場面を設定する。そのことを通して、多くの考えに触れさせ、各グループが主体的に価格を決めていくまでの過程についてより深く考えさせたい。 |
| <p>4 商品の価格が決まる時の関係について、本時の学習を踏まえ、自分の言葉でまとめる。</p> | <p>⑥</p> | <p>○ 均衡価格が需要と供給のバランスが一致した点でまるといことについて、シュミレーションを踏まえて自分の言葉で説明し、表現している。(思：ワークシート)〈十分満足できる視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給のバランスをシュミレーションで体験したことを踏まえて考えている。 |
| <p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>需要と供給が一致しているとき、均衡価格が決まるので、互いが納得して売買できる。</p> | <p>①</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・観光地の宿泊料金が分かるパンフレットを提示する。みかんなどの物的商品以外にも、旅行などの概念的商品においても「行きたい」気持ちが高いと価格は上がり、低いときには価格が下がっていることに気付かせる。また、ゴールデンウィークや年末年始などの時期における旅館への宿泊の付加価値によっても価格が変動することに気付かせたい。 |
| <p>6 次時の課題の確認をする。</p> | | |